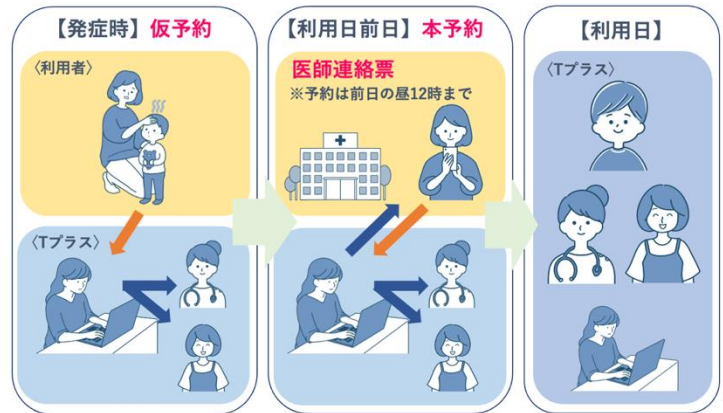


病後児保育 T プラスの利用方法と利用料金

●利用の流れ

- ① 発症時に利用希望日を仮予約
- ② 利用日前日にかかりつけ医を受診
→医師連絡票を作成してもらう
(かかりつけ医へ医師連絡票を持参してください。)
- ③ 医師連絡票を作成してもらったら、
午後 12 時までに病後児保育 T プラス
に電話連絡して本予約
- ④ 利用



【持ち物】

〈保護者〉

- ☐ 病後児保育 T プラス 利用申請書
- ☐ 病後児保育 T プラス利用に伴う医師連絡票
- ☐ T プラス病後児保育記録

〈子ども〉

- ☐ お弁当 ☐ 水筒・マグ ☐ おやつ 2 回分
- ☐ 着替え (1~2 組) ☐ 汚れ物を入れる袋 3 枚
- ☐ 紙おむつ&おしり拭き (必要時・軟便下痢の時) ☐ 与薬する分の薬 ☐ お薬手帳
- 1 歳児: ☐ スタイ ☐ 食事用エプロン ※市販のお薬はお預かりできません

●利用料金と利用時間

基本利用料金 : 1 日お子さま 1 人あたり 3,000 円
 利用時間 : 平日 8 時 45 分~17 時
 半日保育 : ① 8:45~13:00
 ② 13:00~17:00
 半日保育利用料金: 1,500 円

希望者は、8:30~17:30 まで
利用可能。
基本時間外は 15 分につき
250 円の料金がかかります。

利用料の 減額について

生活保護受給世帯、市民税非課税世帯の方は、利用料が減額になります。利用申請（入室）時に「病後児保育事業利用に伴う利用料減免申出書」「病後児保育事業利用料減免申請に伴う同意書」と必要書類を持参し、病後児保育 T プラスに直接申請してください。

	減額後の利用料金	必要書類
生活保護受給世帯	0 円	生活保護受給票 ※市役所生活保護担当課が発行するもの
市民税非課税世帯	500 円	非課税世帯であることがわかるもの ※市役所税務課が発行する所得・課税証明書

※所得・課税証明書の発行には、1 通あたり別途手数料がかかります。

病後児保育受け入れ基準チェック表

〈全体の基準〉

- ☐ 体温が37.4度以下
- ☐ 水分や食事が通常の半分以上とれている
- ☐ 寝入り、夜間、早朝にひどい咳き込みをしていない
- ☐ ひどい鼻水ではない
- ☐ 嘔吐がない(24時間以内)
- ☐ 下痢が頻回でない(下痢が1日5回以下)
- ☐ 呼吸困難がない



〈感染症や外科的疾患〉

- ・新型コロナウイルス：発症後5日を経過し、かつ平熱までしっかり解熱後1日を経過
- ・インフルエンザ：発症後5日を経過し、かつ平熱までしっかり解熱後2日を経過(幼児に関しては解熱後3日を経過)
- ・百日咳：有効な抗生剤服用後、6日目以降
- ・麻疹：解熱後4日目以降
- ・流行性耳下腺炎：耳下腺、顎下腺または舌下腺の腫れが発現後6日目以降、かつ全身状態が良好
- ・風疹：発疹消失後
- ・水ぼうそう：すべての発疹が痂皮化している
- ・喉頭結膜炎(プール熱)：主要症状(発熱、咽頭痛、眼の症状など)消退後3日目以降
- ・アデノウイルス感染症：解熱後24時間経過しており、眼症状(眼脂・充血・かゆみなど)がない
- ・マイコプラズマ感染症：有効な抗生剤が開始されており、解熱後24時間経過している
- ・RSウイルス感染症：解熱後24時間経過している
- ・溶連菌感染症：有効な抗生剤内服開始後、24時間経過している
- ・ロタウイルス、ノロウイルスなどのウイルス性胃腸炎：最終の嘔吐より24時間経過していること、水様下痢ではなく、便はトイレに間に合う、オムツ内に収まる程度
- ・ヘルパンギーナ、手足口病、伝染性紅斑(リンゴ病)：解熱後24時間経過しており、全身状態が落ち着いている
- ・骨折、やけど等の外科的疾患の場合は、病状が安定していること